

第3章

全体構想

第3章 全体構想

3-1 都市づくりの理念

本計画の上位計画である第6次草津市総合計画においては、本市の将来に描くまちの姿を「ひと・まち・ときをつなぐ 絆をつむぐ ふるさと 健幸創造都市 草津」と示しています。

この将来に描くまちの姿をもとに、第2章で示した都市づくりで重視すべき課題を踏まえ、本計画が20年先で目指すべき都市づくりの理念を次のとおりとします。

〈都市づくりの理念〉

市民とともに育み 次世代へつなぐ
利便性と豊かさのある健幸な都市 草津

- ◇将来にわたる人口減少局面を見据え、市民や本市を訪れる人々の利便性が確保され、安全・安心で、居心地がよく、豊かさのある「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の都市構造となります。
- ◇健康的で生きがいのある都市生活の中で、誰もが自分らしい多様なライフスタイルを送ることを通じて、健やかさと幸せを感じられる都市となります。
- ◇次世代を担う子ども達や市外から新たに迎え入れる市民が、長い歴史の中で培ってきた“草津”に愛着と誇りを持てるよう、これまで地域を支えてきた市民とともに育み、次世代へつなぎます。

3-2 都市づくりの目標

都市づくりで重視すべき課題や、都市づくりの理念を踏まえ、都市計画マスタープランにおける都市づくりの目標は次の5つとします。

目標1 都市の活力があふれる都市づくり

将来にわたる人口減少局面を見据え、柔軟かつしなやかに対応できるよう、市街地におけるJR草津駅およびJR南草津駅を中心とした都市機能の集積および交通結節点の機能強化による、多様な交流を創出する拠点形成、郊外部における地域コミュニティの維持や健幸に歩いて暮らせる環境の実現に向けた、地域に根差した地域再生の拠点形成、これらの拠点を公共交通ネットワークで結ぶことにより、相互に移動しやすい環境形成を図ります。

また、本市全体の利便性と魅力の向上を目的とした計画的な土地利用の基、広域性のある幹線道路沿道のポテンシャル等も生かしながら、住宅や農・商・工の産業が連携した持続可能な都市構造への強化を図るとともに、周辺市との連携も見据えたなかで、いつの時代でも都市の活力があふれる都市づくりを目指します。

目標2 住み続けたいと思える住環境がある都市づくり

継続的な人口増加を背景として蓄積した、良好な住環境を形づくる都市基盤の有効活用や、地域毎に培ってきたコミュニティを将来に渡り継続できるよう、特に郊外部の北西部や南東部丘陵地の住宅地等で予見される人口減少や高齢化等に対応した施策等により、市街地・郊外部ともに住み続けたいと思える住環境の確保を目指します。

また、地域社会の活性化に向けて、住まいから身近な場で誇りを持って働きたくなる新たな雇用の場や、既存の地域企業が安定的に操業できる環境を確保することにより、選ばれる居住地としての魅力を高められるよう、メリハリある土地利用の形成が図られた都市づくりを目指します。

目標3 多彩な交流と滞在が生まれる空間がある都市づくり

草津宿本陣に代表される本市の歴史的な地域資源や、琵琶湖岸等の豊かな自然資源を保全するとともに育みながら、本市ならではの個性と魅力を存分に発揮し、市民への快適な空間の提供とともに、市外からも訪れたい都市づくりを目指します。

また、草津川跡地における賑わいある空間整備を契機として、その空間をまちなかに波及して、エリア一帯で歩きや自転車を主とした健幸で快適な空間となるよう、民間活力の導入による、賑わいと共に多彩な交流と滞在が生まれる空間がある都市づくりを目指します。

目標4 安全・安心を実感して暮らせる都市づくり

近年激甚化・頻発化している自然災害について、本市でもいつでも起こり得るものとして十分に認識し、草津川上流部や琵琶湖岸等で想定される洪水や、本市周辺に存在する複数の活断層による地震災害等の大規模な被害が想定される自然災害に対応して、これまでに取り組んできたハード対策の更なる推進とともに、市内の災害リスクを市民が認識するための適切な情報提供、自主防災組織の支援強化等のソフト対策を組み合わせることにより、日々の安全・安心な生活に貢献できる都市の強靱化を進め、防災性・減災性の強化に努めます。

また、道路、公園、公共施設等のバリアフリー化や、地域と連携した防災・防犯活動の促進により、安全・安心を実感して暮らせる都市づくりを目指します。

目標5 地域が主役となれる都市づくり

歴史的な地域資源を守りながら人口増加と共に計画的に発展してきた市街地や、旧来より積み重ねてきた自然と調和した郊外部の住環境等について、市民・事業者・行政が共につくり上げてきた都市空間を皆の資源として認識した上で、より一層、市民や事業者が都市づくりのために力を発揮してまちを使いこなし、健幸に暮らし続けることができるよう、市民活動の促進につながる仕組みづくりを構築・支援することで、地域が主役となれる都市づくりを目指します。

3-3 将来の都市構造

1. 都市形成フレーム

都市形成フレームとは、国勢調査を基に本市の将来人口を推計し、将来目指すべき都市の規模を示したものです。今後、本計画に基づき都市づくりを進める上での基本的な指標とします。

都市形成フレームは、上位計画となる第6次草津市総合計画での将来人口推計の内容も踏まえ、設定を行います。

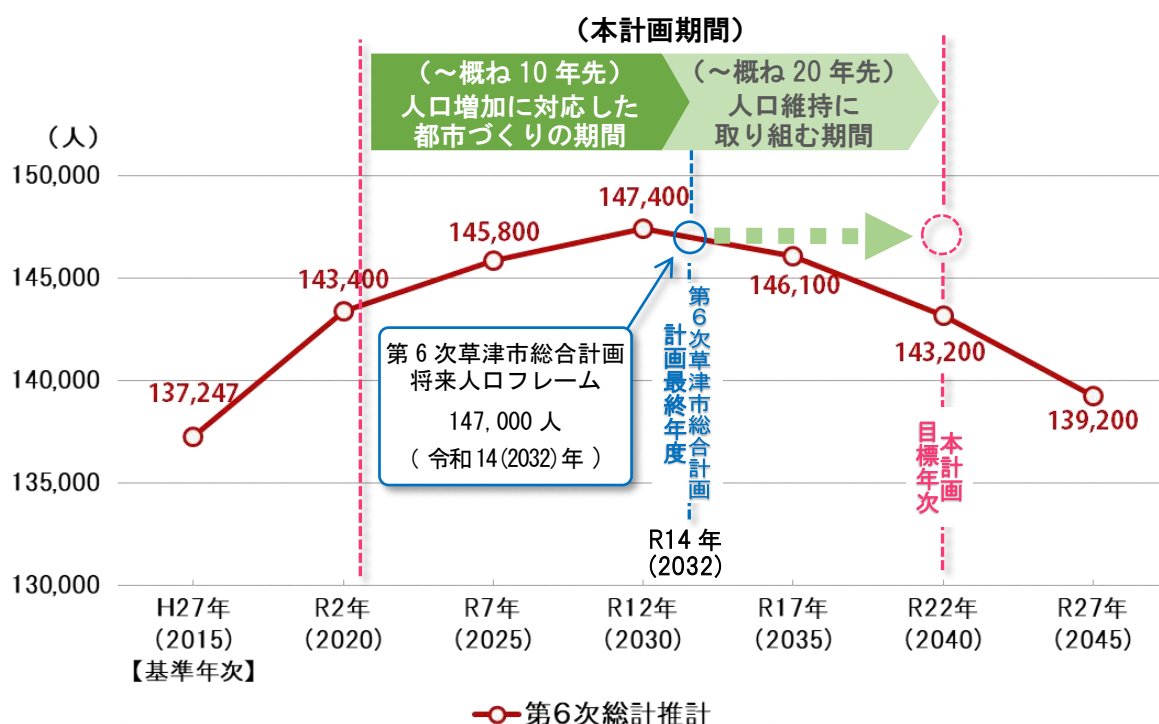
本計画での都市形成フレーム

147,000 人

⇒第6次草津市総合計画の将来人口フレームは、147,000 人を設定しています。これは、推計上の人口ピークとなる令和12(2030)年の147,400 人と概ね同様の値となっています。

⇒本計画では、概ね20年の計画期間のうち前期となり、第6次草津市総合計画の計画最終年度である令和14(2032)年頃までの概ね10年先までにおいて、人口増加に対応した都市づくりを進めるものとします。

⇒その後の概ね20年先までにおいては、推計上は人口減少期となりますが、可能な限り人口維持に取り組む(人口減少を抑制する)期間として位置付け、人口減少期においても、計画的な土地利用等を進めながら、都市の活力の維持等に取り組むものとします。



【第6次総計推計】

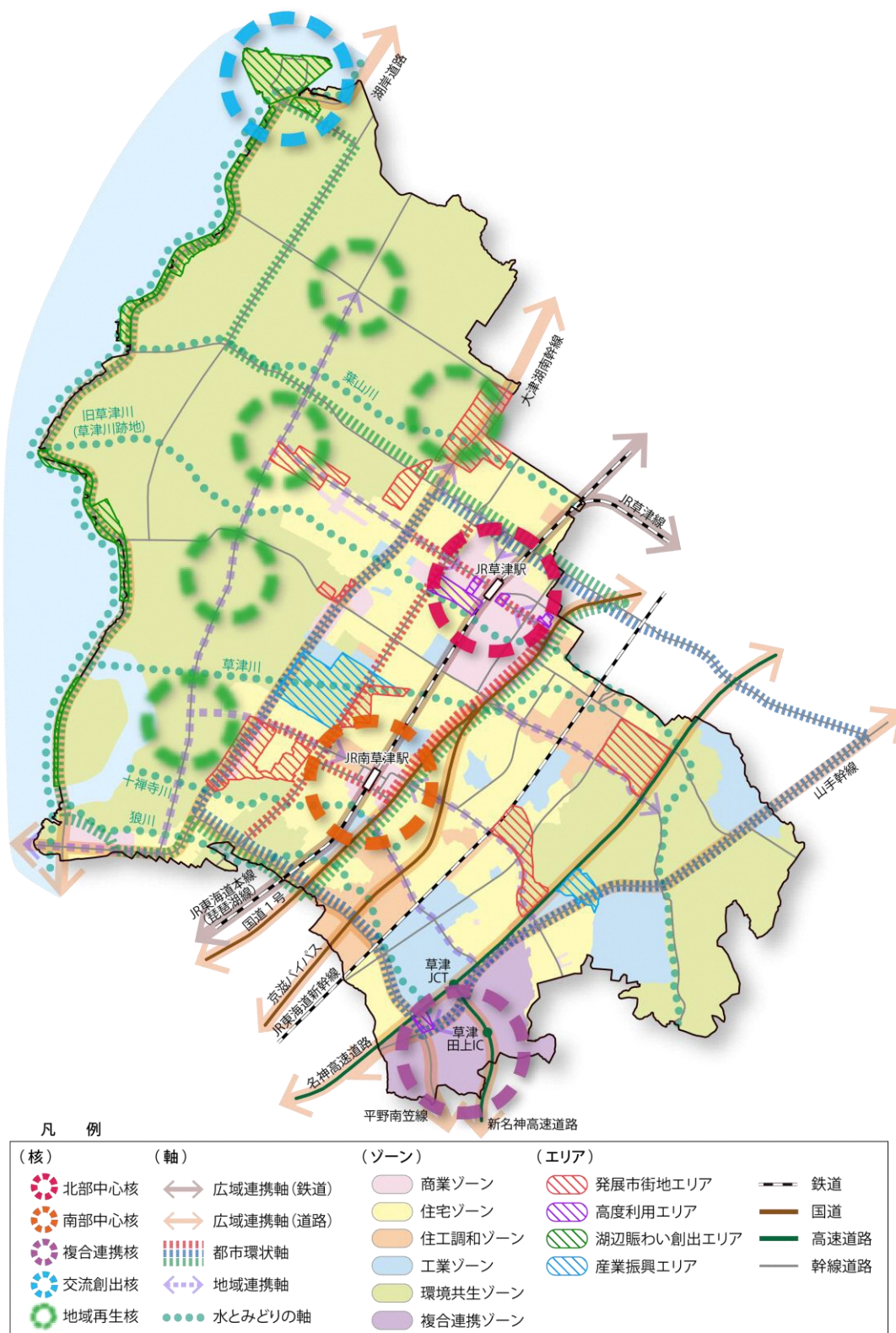
→第6次草津市総合計画の推計方法に準じて令和22(2040)年以降を延伸して算出

2. 将来都市構造図

(1) 将来都市構造図

将来都市構造図は、都市づくりの理念や目標、都市形成フレーム等を踏まえて、将来の都市の骨格構造を示すものであり、「核」・「軸」・「ゾーン」・「エリア」の4要素で構成します。

【将来都市構造図】



(2) 核

市内の拠点として、5 種類の核を設け、互いに地域の特長を生かした役割を担い、相互に補完しながら、市内でメリハリある土地利用に向けた拠点性の向上や地域再生の核の形成を図ります。

北部中心核

【設定箇所】

JR 草津駅周辺

【方針】

◇本市の中心市街地として、市内外から多くの人々が訪れ、活発な都市活動や交流が行われる場の形成に向けて、古くから形成されてきた歴史ある街並みと融合しながら、草津市立地適正化計画での誘導施設をはじめとした多様な都市機能の集積や、市全体の玄関口として、市内各地と繋がる交通結節機能が充実した核の形成を目指します。

南部中心核

【設定箇所】

JR 南草津駅周辺

【方針】

◇市南部の中心市街地として、草津市立地適正化計画での誘導施設をはじめとした多様な都市機能の集積や、駅からの徒歩利用圏での住宅地形成を進めるとともに、JR 南草津駅周辺が有する新たな取組にも挑戦しやすい環境での多様性ある都市づくりにより、北部中心核とは違った本市の新たな魅力と価値を創出する核の形成を目指します。

複合連携核

【設定箇所】

びわこ文化公園都市(草津市域)

【方針】

◇びわこ文化公園都市の一部として、草津 JCT や草津田上 IC の広域的な交通利便性を活かし、産官学や研究機関との連携、新産業の創出、福祉・医療・文化等の交流を促進する核の形成を目指します。

交流創出核

【設定箇所】

烏丸半島

【方針】

◇湖岸の恵まれた希有な資源・景観を最大限に生かして、市民および市外来訪者の賑わいと健幸に満ちた多様な余暇の活動を通じた交流を豊富に創出する核の形成を目指します。

地域再生核

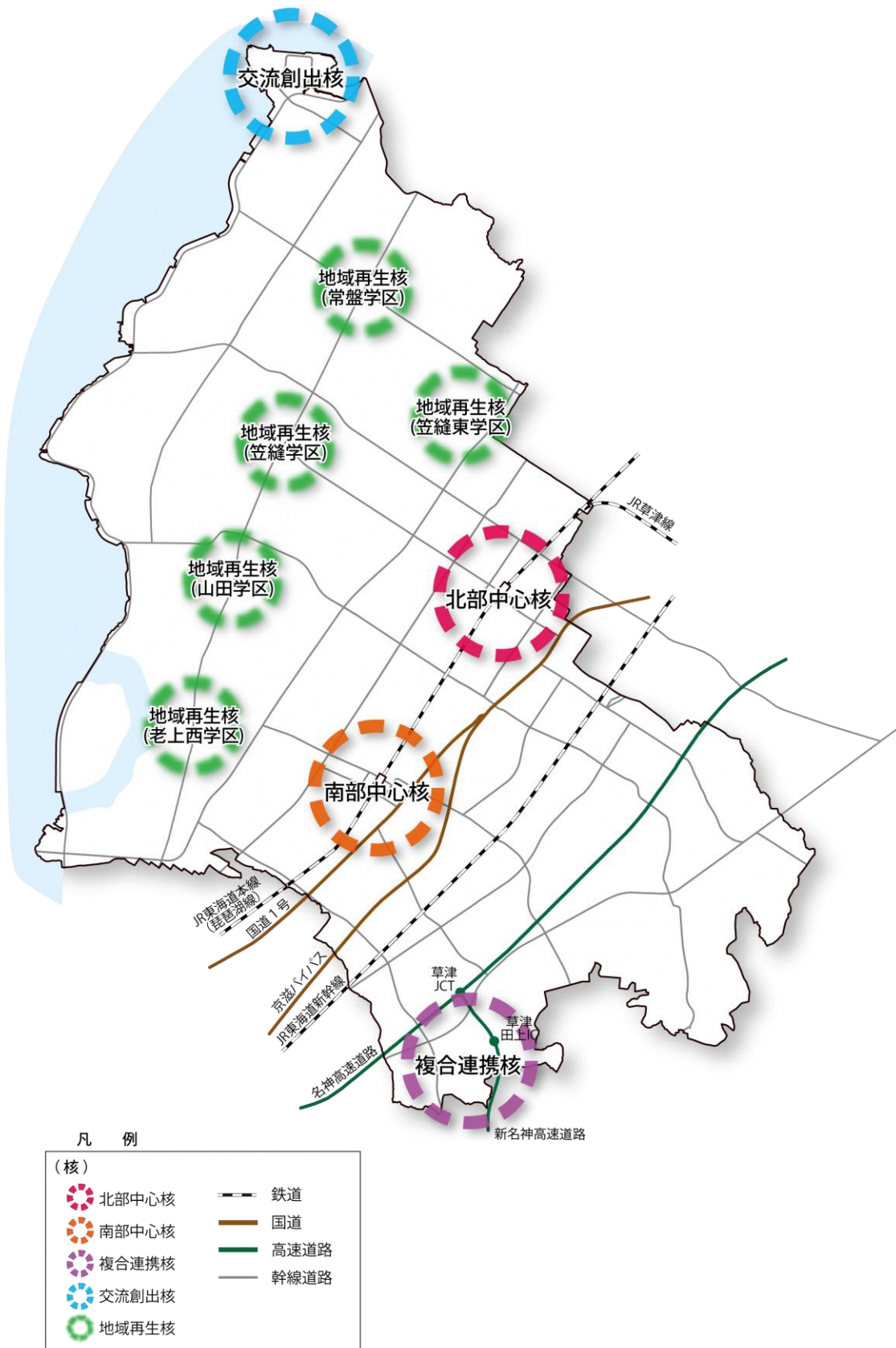
【設定箇所】

①常盤学区、②笠縫学区、③笠縫東学区、④山田学区、⑤老上西学区

【方針】

◇主に市街化調整区域における居住者の生活利便性の確保に向けて、地域に身近な拠点として日常生活に必要な機能を楽しみ、公共交通により中心核等と効果的に繋がるための交通拠点として、地域住民との協働による地域再生の中心的な核の形成を目指します。

【将来都市構造図（核）】



(3) 軸

市内外や市内の核の間を道路や公共交通の軸で効果的に結ぶことにより、賑わいや利便性の向上を図るとともに、景観・環境形成や防災性向上に寄与する水とみどりの軸の形成を図ります。

↔ 広域連携軸（鉄道） ↔ 広域連携軸（道路）

【設定箇所】

- ①JR 東海道本線(琵琶湖線)、②JR 草津線、③国道 1 号・京滋バイパス、
- ④名神高速道路・新名神高速道路、⑤(都)山手幹線、⑥(都)大津湖南幹線、
- ⑦湖岸道路、⑧(都)平野南笠線

【方針】

◇市内と市外を結び、本市を訪れることができる広域性を有した鉄道や幹線道路で設定します。

都市環状軸

【設定箇所】

- ①まちなか環状軸、②ひがし環状軸、③にし環状軸

【方針】

- ◇市内全体の交通体系の充実や活性化を図ることを目的として環状軸を位置付け、交通環境整備の推進とともに市内の連携を強化する軸の形成を目指します。
- ◇「まちなか環状軸」は、北部中心核(JR 草津駅)と南部中心核(JR 南草津駅)周辺を結び、本市のまちなかの骨格となる軸の形成を目指します。
- ◇「ひがし環状軸」は、(都)大津湖南幹線・(都)平野南笠線・(都)山手幹線・(都)下笠下砥山線の 4 路線で構成し、2 つの中心核と複合連携核を結ぶとともに、草津田上 IC の広域幹線ネットワークを最大限に生かして、市内外を効果的に繋ぐことができる軸の形成を目指します。
- ◇「にし環状軸」は、国道 1 号・(都)平野南笠線・(都)大津湖南幹線・湖岸道路・(都)下物烏丸線・(都)下笠下物線・(都)下笠下砥山線の 7 路線で構成し、2 つの中心核と交流創出核を結ぶとともに、湖岸エリア等の市西部の住民の広域的な移動の利便性を支え、本市への来訪者の周遊性に寄与する軸の形成を目指します。

地域連携軸

【設定箇所】

- ①核の間をつなぐバス交通路線

【方針】

- ◇本市の中心市街地の役割を担う北部中心核・南部中心核と、郊外部の特に地域再生核をつなぐバス交通路線上において、核の間の連携・交流を促す軸の形成を目指します。

水とみどりの軸

【設定箇所】

- ①琵琶湖岸、②葉山川、③草津川、④十禅寺川、⑤狼川、⑥旧草津川(草津川跡地)

【方針】

- ◇市内で連続性のある水またはみどり日常的な憩いの場や市民活動の場としての水やみどりの連続性ある空間の確保や、景観・環境形成への寄与とともに、都市防災上、管理すべき重要な都市空間として認識して、改修等の促進により地域の安全性に貢献する軸の形成を目指します。

【将来都市構造図（軸）】



(4) ゾーン

本市の都市づくりの基本となる土地利用の誘導・規制を促進するにあたり、次に示す 6 つのゾーンを基本とします。

商業ゾーン

【設定箇所】

①商業系用途地域

【方針】

◇駅周辺や幹線道路周辺等での商業機能を主とした土地利用を促進します。

住宅ゾーン

【設定箇所】

①住居系用途地域

【方針】

◇住宅を主とした土地利用を促進します。

住工調和ゾーン

【設定箇所】

①準工業地域

【方針】

◇住環境と操業環境の調和に重点をおいた土地利用を促進します。

工業ゾーン

【設定箇所】

①工業系用途地域

【方針】

◇工業および産業を主とした土地利用を促進します。

環境共生ゾーン

【設定箇所】

①市街化調整区域

【方針】

◇市街化調整区域での自然(湖岸、農地、丘陵地)と点在する郊外部の住宅が共生し、草津市版地域再生計画と連携した土地利用を促進します。

複合連携ゾーン

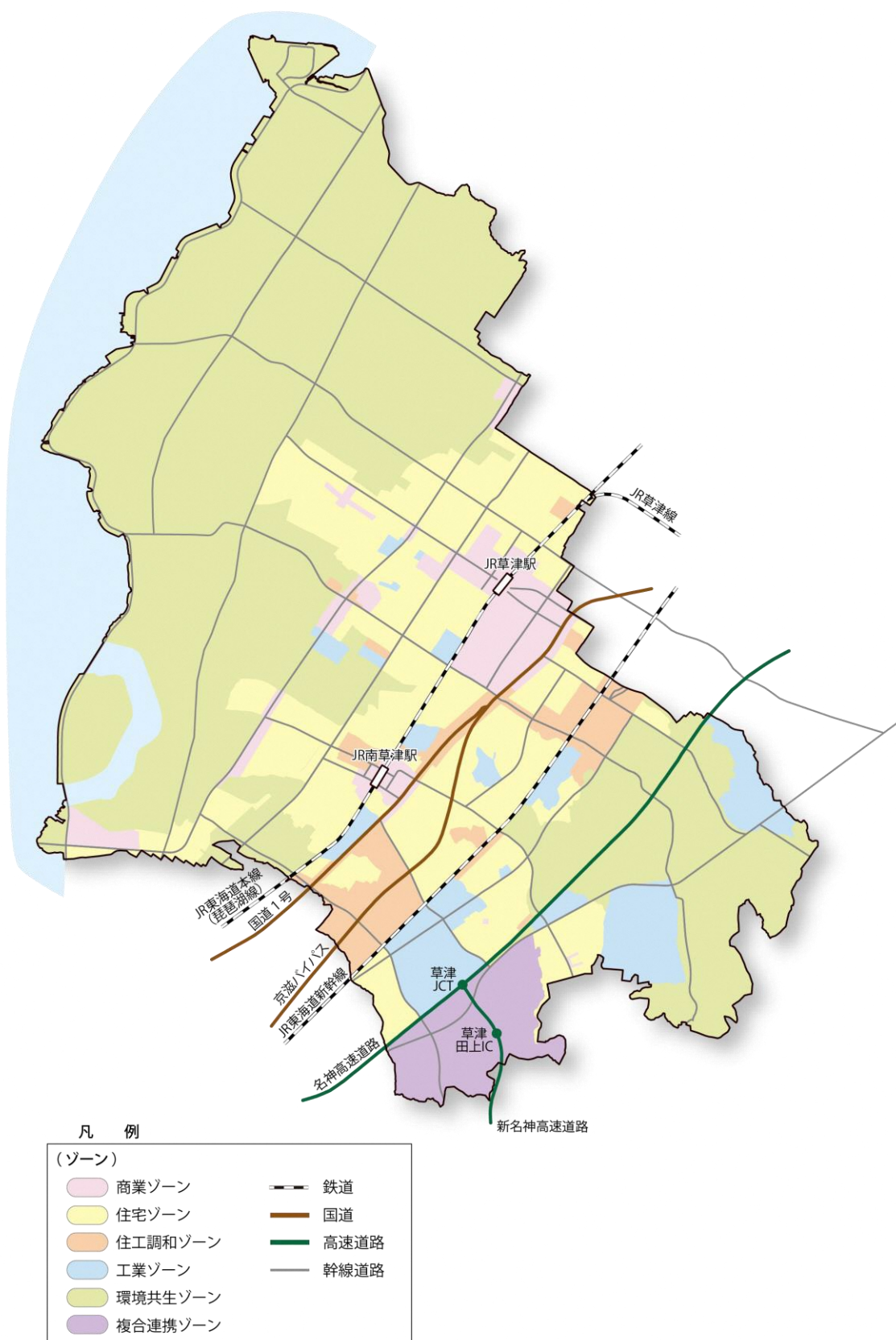
【設定箇所】

①びわこ文化公園都市エリア

【方針】

◇びわこ文化公園都市将来ビジョン(滋賀県策定)を踏まえ、産官学や研究機関との連携、新産業の創出、福祉・医療・文化等の交流を図る土地利用を促進します。

【将来都市構造図（ゾーン）】



(5) エリア

6つのゾーンとともに、本市が持つ土地利用のポテンシャルを最大限に発揮できるよう、5つのエリアを設けて、エリア毎の特性に応じた計画的な土地利用を検討し、契機を捉えた都市づくりを推進していきます。

発展市街地エリア

【設定箇所】

- ①駒井沢町地先、②川原町地先、③下笠町地先、④木川町地先、⑤野路町・西矢倉三丁目地先、
⑥矢橋町地先、⑦青地町地先、⑧追分南四・五・七丁目地先

【方針】

◇都市計画法第34条第11号に基づく特定区域等において、全市的な市街地の発展に寄与する土地利用を推進します。

高度利用エリア

【設定箇所】

- ①草津駅西地区、②まちづくりセンター跡地、③草津合同ビル等、④市街地再開発事業予定地、
⑤草津PA付近

【方針】

◇拠点ごとに求められる役割に応じて、高度利用を見据えた地区計画の決定、用途地域の変更、容積率の緩和の検討等に基づいた拠点内の更なる質の向上に寄与する土地利用を推進します。

湖辺賑わい創出エリア

【設定箇所】

- ①道の駅草津周辺、②烏丸半島、③烏丸半島～湖岸緑地、④湖岸緑地と志那漁港、
⑤湖岸緑地と北山田漁港、⑥帰帆島湖岸緑地

【方針】

◇琵琶湖岸およびその周辺が有する自然資源、琵琶湖の水産資源をもとにした漁港、広大な未利用地を最大限に利活用し、地域活性化を図ることができるよう、湖辺の賑わい創出に寄与する土地利用を推進します。

産業振興エリア

【設定箇所】

- ①御倉町・西矢倉二丁目地先、②岡本町地先

【方針】

◇幹線道路沿道等を中心に市域が持つポテンシャルを最大限に発揮できるよう、産業振興に寄与する土地利用を推進します。

【将来都市構造図（エリア）】

